

コンビニエンス・ストア 「スリーエフ 横浜市庁舎店」



所在地：神奈川県横浜市中区港町1丁目1番地
横浜市庁舎地下1階
店舗面積：133.66m²
売場面積：109.31m²
施主：(株)スリーエフ
設計：(株)シーク設計
オープン：平成21年5月

コンビニエンス・ストア(株)スリーエフが官公庁舎への初出店となる
「スリーエフ横浜市庁舎店」をオープン。

店内の全てにLED照明が採用され、大幅な省エネ、CO₂排出量の削減が図られています。

食品や雑貨などの商品のほか、サービス機能を取り揃えて来店者のニーズに対応

横浜市庁舎の地下1階に約110m²の売り場面積でオープンした「スリーエフ横浜市庁舎店」。弁当や軽食、飲料水、化粧品、雑貨などの商品に加え、自分好みにブレンドが楽しめる淹れたてのGooz(グーツ)コーヒーを用意。さらに、ATMやマルチコピー機、FAXなどサービス機能も取り揃え、市の職員や来店者の利用ニーズに十分対応した店づくりとしています。

店内の照明は、ベース照明をはじめ間接照明、局部照明など全てに高効率なLEDが採用されており、蛍光灯と比較して消費電力・CO₂排出量とも約34%の削減が図られています。

全ての店内照明をLEDの採用により省エネ、CO₂を大幅に削減

エコを意識して店内のベース照明は2.7m高さの天井にLEDベースライトスクエアタイプ(E-COREベース3000クラス)を均等配置し、梁の周囲にLEDミゼット電球(5.3Wタイプ)を用いた間接照明により、柔らかな光で天井面を照射して梁のもたらし暗さを補って適正な照度を確保。新鮮・清潔なショップ空間を創出しながら省エネ、CO₂排出量の削減を図っています。また、LED照明は可視光線以外の光をほとんど出さないため、商品に対して赤外線の影響による傷みや、紫外線による色褪せがなく、さらには虫の飛来も軽減しています(ベース照明の初期平均照度1100lx)。

Gooz(グーツ)コーヒーコーナーは、局部照明にLEDビーム電球(9Wタイプ)スポットライトを採用し、高い演色性(Ra:92)を放つランプにより商品の見え方を忠実にしてコーヒーを楽しんで飲める空間を提供しています。

カウンターには、下り天井に、白色反射板を遮光し眩しさを制御したLEDダウンライト(E-CORE900シリーズ)を配置。十分な明るさを確保し、スタッフと来店者との和みの会話を生み出す雰囲気を得られます。

雑誌売り場コーナーは下り天井に設けたLEDダウンライト(E-CORE900シリーズ)を下方に光を落として眩しさを抑え、目に負担を感じさせない光環境となっています。



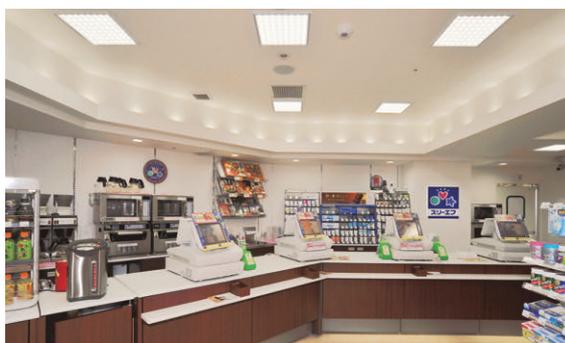
店内全体の内観 ベース照明にLEDベースライトスクエアタイプを均等配置し、梁のもたらし暗さをLED電球による間接照明で全体をカバーして適正な照度を確保



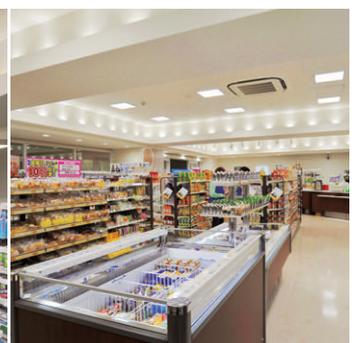
Gooz(グーツ)コーヒーコーナーの照明 局部照明として高演色のLED電球スポットライトを採用



雑誌売り場コーナーの照明 眩しさを制御したLEDダウンライトで、目に負担を感じさせない光環境を確保



カウンターの照明 カウンター内にLEDダウンライトを設置し、来店者との和みの会話のできる雰囲気を作成



冷蔵商品コーナー周りの照明 照明発熱量が少ないため、商品の品質を保持

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
店内	LEDベースライトスクエアタイプ	LEDR-32401W-LD9	26	LED消費電力:38W
	LEDダウンライト	LEDD-70001W-LD8	16	LED消費電力:14.2W
	LED間接照明	DC-6212+LELSL5NF	127	LED(ミゼット電球)消費電力:5.3W
	LEDスポットライト	IBP-3520W+LEL-BR9LF/H(特注品)	4	LED(ビーム電球)消費電力:9.0W